

第1回治療家甲子園出場

のぞみ鍼灸接骨院チーム

宇治市 難関突破し日本一を目指す

全国の治療家の「日本一」をかけて29日に東京都港区虎ノ門の日本消防会館で開催される第1回「治療家甲子園」に宇治市の「のぞみ鍼灸接骨院(伊勢田町)」、「のぞみ整骨院(大久保町)」、「こじま治療院(伊勢田町)」の系列3店のスタッフが出場。全国からエントリーした治療院321店舗の中から6店舗…という難関を突破しての出場だけに「必ず日本一に！」とスタッフたちも張り切っている。

「治療家甲子園」は、治療業界で働いている人が夢や誇りを持っているイベントとして企画され、次代を担う若い世代が最高に輝ける場にしよというもの。1次予選は、今年8月に応募治療院の中から書類審査でベスト20院に絞り、2次予選は9月に業界関係者やイベントプロデューサーなどの審査委員会の前でプレゼンテーションが行われ、6院が決定された。

決勝戦では、店舗活動VTRや各院スタッフによるプレゼンテーションを審査員と大会当日の来場者735人(予定)の採点で「日本一」が決定される。

のぞみ鍼灸接骨院チームは、小嶋道範院長(35)を監督に小川由智さん(29)、黒川幸俊さん(33)、宮川公亮さん(39)、姫野真佐子さん(34)のスタッフらで編成。うち一人は、全盲の両親のもとに育ち、この仕事の大切さを肌で感じ、その環境は彼を己に厳しい強い人間に育てていった。「今は心から感謝の気持ちで患者様に接することが出来る」と語る。チームのプレゼンテーションが会場を沸かすことは間違いなさだろう。



【日本一めざすぞ！と気合いの入るスタッフたち】